

# 事業報告書

2008年度

自2008年7月1日

至2009年6月30日

特定非営利活動法人MUKWANO

## ■■■ 2008年度 MUKWANO 事業報告 ■■■

(2008年7月1日～2009年6月30日)

### 1. 基礎教育と職業訓練事業について

2008年6月21日(土)に開催された「マザーハンドコンサート」基金様より¥854,562をいただき、2008年11月、ホーム/スクールの机、椅子並びに3台の大型水タンク、スタッフルームの家具などを購入した。机と椅子が教室に入ったことで、最低限の学ぶ環境が整った。現在180名の遺児らがスクールへ通っている。ホーム/スクールへ通ってくる子どもは、両親のどちらかもしくは両方が亡くなっているか、もしくは、子どもだけで暮らしている家から来ており、今まで学費が払えないために、学校へ行けなかった子どもが多い。昼には全生徒に給食を提供しているが、この給食が1日の唯一の食事という子どもも多い。そのため、MUKWANOでは午前10時半のブレイクタイムに出すポレッジ(とうもろこしの粉を蒸したもの)と給食の支給を重要視している。

2008年12月まで、MUKWANO ホーム/スクールはP1-P6(小学校1年から6年にあたる)までだったが、2009年2月の1学期から先生達の要望でP7も作るようになった。ウガンダの小学校は通常、小学校7年生までだが、MUKWANOと現地のCBO/サマニヤの最初の話し合いで、まずは小学校6年生までやってみようということで2007年12月より進めてきた。クラスルームは足りないが、現地の先生たちの強い意志の元、小学校1年生や2年生は青空教室でも良いのではないかとといった意見が多く、今年より新たにもう1クラス作るようになった。基礎教育の充実を図るため、2009年3月に教科書の購入を行う。教科書は生徒2人につき1冊の配布となる教科書があれば、1人に1冊渡る科目もある。

また毎週金曜日は、前年度に引き続き専門の指導者のもと、全生徒が参加し、キャサバ、とうもろこしの栽培など農業実習を行っている。雨が比較的少ない大地で、どのように畑を耕すかを含め、自分たちが生きる為には、小さな土地でどのように野菜などを植えていくかを教えている。MUKWANOからも食料の一部を支援しているが、ホームでも畑を作り、自分たちで食料を作っていくことを推進している。ただ、天候により100%自給自足は難しいのが現状である。また子ども達はビーズを使ったアクセサリ作りも行っている。ウガンダの小さなお店でも置かせてもらっている他、日本でも、イベントやフリーマーケットなどで、携帯ストラップとして販売をしている。この収益金は、子ども達のレクリエーションやマラリア対策の薬代などとして使われている。レクリエーションの第1弾として、2009年2月にLake Mbulo National Parkへ遠足に行った。子ども達は生まれて初めて見るぞうやシマウマ、インパラ、バッファローなどに終始大興奮だった。2009年6月には、MUKWANO ホーム/スクールにセメントでプラスタリングを行い、外壁の補強をした。

## 2. HIV/エイズ予防と保健衛生事業について

2008年4月から、ホームの衛生環境改善のため、子ども用のトイレ、バスルームの建設を始め、2008年5月にバスルームが完成。トイレは掘削作業に時間がかかり2008年10月に完成。工事費はトータル約340,000円となった。

ホームに住む子どもら40人を中心に、歯磨き、手洗い、部屋や敷地内の掃除、お風呂の徹底など、基本的な保健教育を進めている。毎週土曜日には、ホームのリーダーであるセンキマ氏の指導の下、子どもたちは歌や劇を通して、エイズや保健衛生について学ぶ時間を持っている。今年度より、現地語のLuganda語だけではなく英語での歌、詩も取り入れるようになった。ホームでは朝の起床後、1日の始まりは部屋やスクールの周りの掃除と、料理に使う薪拾いなどから始まる。自分たちが使う場所は子ども達自身が掃除することで、大切に使うようになり、それも教育の1つになっている。

2008年11月にはこれまで大きな課題であった水問題への対処法として、大型水タンク3個を設置した。これにより、子ども達の飲料水、調理用の水は比較的綺麗な雨水を使うことが出来るようになった。ただ、身体を洗う時、また乾期の際は水が足りないため、近くの池や遠くの湖まで水汲みに行き、汚い水を使わなくてはならない。引き続きMUKWANOでは水問題への対策を検討中である。

## 3. HIV/エイズ分野におけるリーダー育成事業について

2009年6月にWORLD VISION主催のワークショップに、リーダーのセンキマ氏が参加し、エイズ教育の大切さ、方法を学ぶ。リーダー育成に関しては、HIV/エイズ分野だけではなく、ホームやスクールのリーダーを育成したいと考えており、2008年度はこれまで以上にJICAの研修に先生が不定期に参加した。子ども達が楽しんで勉強に取り組めるよう工夫をしている。さらに2008年8月11日から15日までJICAの広域研修に校長のエバリスト氏が参加し、1時間の授業の組み立て方や、個を大切に授業の方法を学んだ。

## 4. HIV/エイズ分野における普及啓発事業について

昨年度(2007年11月)から、引き続き日本国内において、不定期に勉強会を開き、一般学生や社会人を対象に、アフリカについて、エイズについて関心を持ってもらう機会を作った。

## 5. 広報活動と募金活動について

2008年7月28日に、中村照夫と仲間たち～エイズ・アウェアネス・ジャズライブが「サマー・ビアガーデン@日比谷シティ広場」で開かれ、MUKWANO理事・青野

文子がスピーチをした。2008年11月14日にはCARE WAVE 実行委員会主催のミュージカル「選ばれた大地 アフリカ」の会場エントランスホールにブースを出し、収益金の一部を寄付いただいた。2009年4月18日は東京渋谷の観世能楽堂での能楽公演「山階別会」で、ロビーでの募金活動と子ども達が作った携帯ストラップの販売を行う。2009年12月には女性の国際ボランティア奉仕組織、ソロプチミストの国際奉仕賞をいただき、バザーなどで携帯ストラップの販売を手伝っていただいた。MUKWANO サポートメンバーが中心となり、2008年7月から計4回、チャリティーフリーマーケットを開催し、その収益を寄付いただいた。MUKWANO サポートメンバーのシンガーソングライター・永谷晃子さん他より、チャリティーライブの収益を寄付いただいた。また、店頭・会社・病院などに募金箱を置いて頂くなど、皆様方のお気持ちに深く感謝を致します。

今年度は、2008年7月1日から2009年6月30日まで、会員費 410,000 円、一般寄付 7,026,792 円、合計 7,436,792 円をいただいた。

また支出では、事業費 2,883,156 円 {内訳; (1)生活支援と心のケア事業費 998,127 円、(2)基礎教育と職業訓練事業 571,023 円、(3)予防/保健衛生教育事業 1199,361 円、(4)リーダーの育成事業 904 円、(5)普及啓発事業 113,741 円}。管理費計 406,603 円となり、支出合計は 3,289,759 円でした。 以 上



室内での授業(椅子・机・教科書導入)



青空教室



携帯ストラップ作り



国内でのフリーマーケット